

平成26年 2級土木施工管理 実地試験(学科記述問題)

必須問題

問題2 土工に関する次の〔設問1〕,〔設問2〕に答えなさい。

〔設問1〕 盛土の施工に関する次の文章の()に当てはまる適切な語句を下記の語句から選び、解答欄に記入しなさい。

1 盛土に用いる材料は、敷均しや締固めが容易で締固め後のせん断強度が(イ)、(ロ)が小さく、雨水などの浸食に強いとともに、吸水による(ハ)が低いことが望ましい。

2 盛土材料が(ニ)で法面勾配が1:2.0程度までの場合には、ブルドーザを法面に丹念に走らせて締め固める方法もあり、この場合、法尻にブルドーザのための平地があるとよい。

3 盛土法面における法面保護工は、法面の長期的な安定性確保とともに自然環境の保全や修景を主目的とする点から、初めに法面(ホ)工の適用について検討することが望ましい。

〔語句〕

擁壁, 高く, せん断力, 有機質, 伸縮性, 良質, 粘性, 低く, 膨潤性, 岩塊, 湿潤性, 緑化, 圧縮性, 水平, モルタル吹付

解答

- (イ) 高く
- (ロ) 圧縮性
- (ハ) 膨潤性
- (ニ) 良質
- (ホ) 緑化

必須問題

〔設問2〕 盛土に高含水比の現場発生土を使用する場合、下記の(1)、(2)についてそれぞれ1つ解答欄に記述しなさい。

(1) 土の含水量の調節方法

(2) 敷均し時の施工上の留意点

解答

(1) 土の含水量の調節方法

土の抜気乾燥
トレンチ掘削
生石灰の混合

(2) 敷均し時の施工上の留意点

一定間隔ごとに透水性の良い材料で排水層を設ける。
湿地ブルドーザなどコーン指数の低い場所の締固め機器の選択

この過去問は受講者専門のページです。
お申し込みされますと全ての過去問がご覧頂けます。
お早目のお申し込みお待ちしております。

受講お申込みはこちらから



<https://www.sekou-net.jp/entry/>